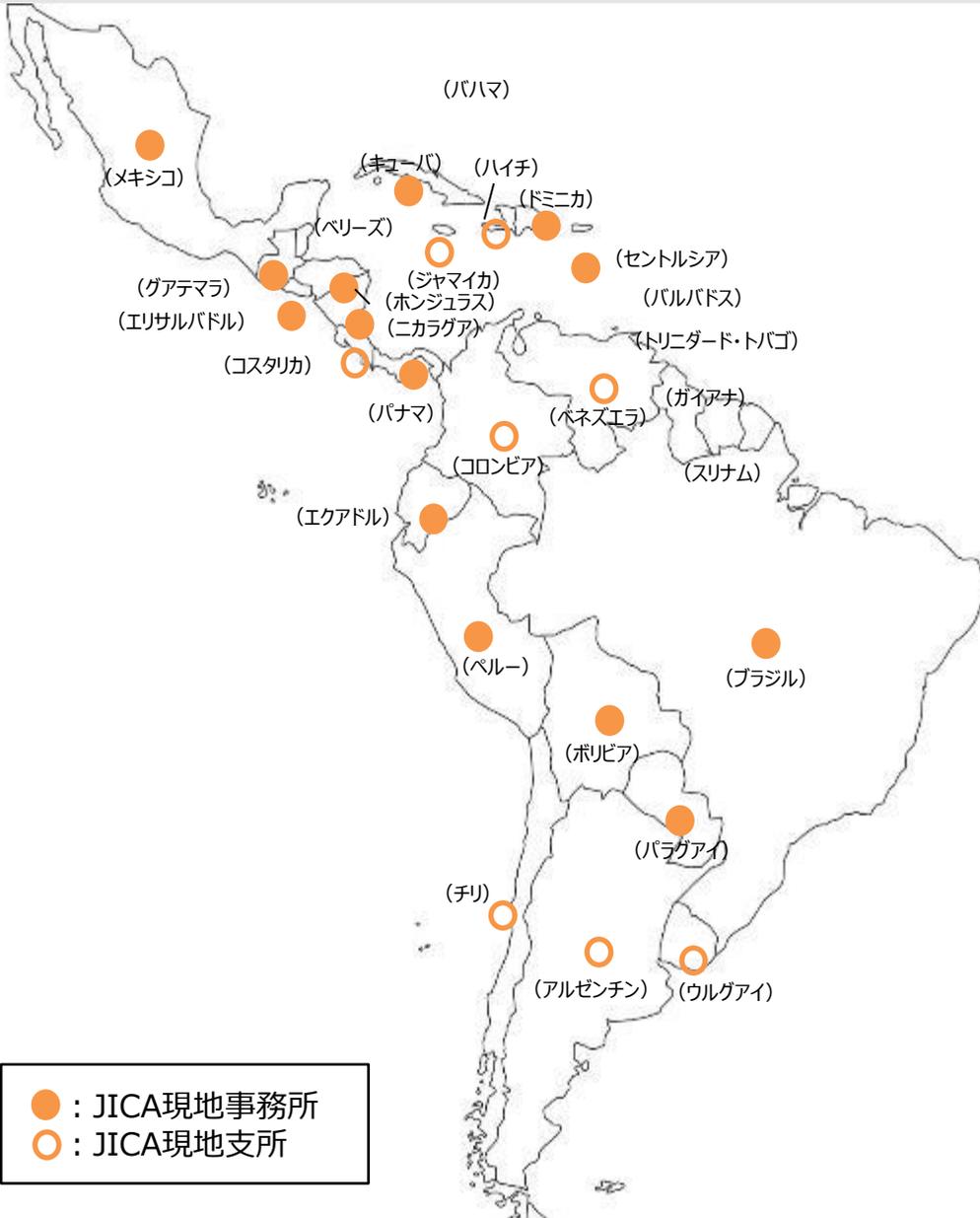


Governmentコースと JICAの追加支援について

JICA 中南米部

中南米・カリブ地域での広範な支援体制を構築



	JICA		IDB
	現地事務所	支所	
アルゼンチン		○	■
ウルグアイ		○	■
エクアドル			■
エルサルバドル	●		■
ガイアナ			■
キューバ	●		
グアテマラ	●		■
コスタリカ		○	■
コロンビア		○	■
ジャマイカ		○	■
スリナム			■
セントルシア	●		
チリ		○	■
ドミニカ共和国	●		■

	JICA		IDB
	現地事務所	支所	
トリニダード・トバゴ			■
ニカラグア	●		■
ハイチ		○	■
パナマ	●		■
バハマ			■
パラグアイ	●		■
バルバドス			■
ブラジル	●		■
ベリーズ		○	■
ベネズエラ		○	■
ペルー	●		■
ボリビア	●		■
ホンジュラス	●		■
メキシコ	●		■

Governmentコース： インパクト創出とスケールアップに向けた支援を提供

検討の視点

開発課題とソリューションとの整合性

具体的なユースケースの特定

- 顧客となる公的部門の課題と課題解決へのアプローチ
- 顧客となる公的部門にとってのメリット（経済性を含む）

初期ビジネスコンセプトにおける座組とアクションプラン

- 現地関係者との役割分担・座組
- スタートアップのビジネスモデル
- 対象裨益者（属性、人数）とインパクトの発現経路
- 初期ビジネスコンセプト実現に向けたPoC等の実施計画・検証論点

スケールアップ仮説

- ターゲットとする公的部門の顧客セグメント
- B to Gのビジネスモデル
- ビジネスモデルを実現するに当たって必要な現地関係者の機能・役割
- 事業規模
- PoC後の公的部門による事業拡張計画

プロセス

メンタリング

- インパクトパス検討とユースケースの特定
- 公的部門の顧客・その他現地パートナー候補の特定
- 現地パートナーにとってのメリット（経済性）の具体化
- B to Gのビジネスモデルの仮説検討

現地パートナー候補とのオンライン面談

- JICAのネットワークを通じたパートナー探索
- 顧客となる公的部門、その他現地パートナーに対するプレゼンテーション
- B to Gのビジネスコンセプトの検討

現地渡航を通じた顧客とその他パートナーとの連携交渉

- 顧客となる公的部門、その他現地パートナーとの現地での実証に向けた交渉
 - ビジネスプランの具体化、実証条件の把握
- 公的部門によるスケールアップ計画

PoC案とスケールアップ仮説のブラッシュアップ

- PoCに向けたプランの具体化
- 公的部門によるスケールアップ仮説の構築

Governmentコース： 応募対象と追加支援機会

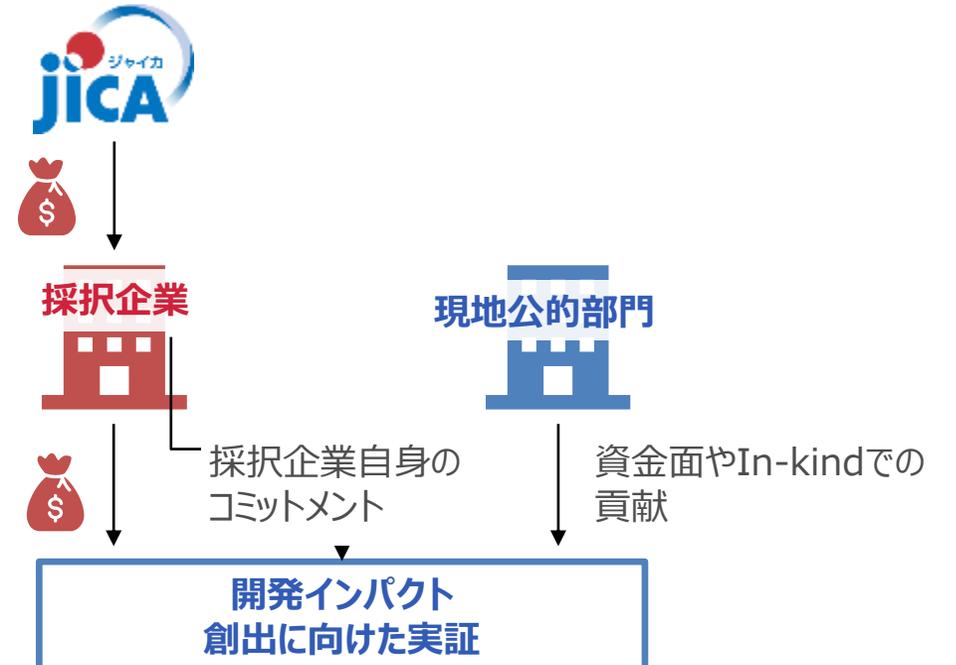
応募対象

① 個別協力事業との共創	実施中・予定の案件との共創	<p>実施予定・中のODA案件の効果増幅を目的とした連携にかかる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施中・予定のODA案件とのシナジー創出および 公的部門との共創を想定
	将来的な個別協力事業の形成を見据えたアイデアの競争	<p>JICAが将来的に個別協力事業を模索したい国×社会課題におけるアイデアの共創にかかる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 公的部門との共創を想定
② 相手国政府のニーズを起点とした革新的なアプローチの検証		<p>相手国政府から関心が示されたニーズに基づく革新的なアプローチの検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募前に相手国政府からニーズを確認し、得られた内容をベースにソリューションを選定 顧客となる相手国政府との連携・共創が前提 B to Gのビジネスモデルにフォーカス

JICAの追加支援機会

実証にかかるサポートを提供

- JICAとしての継続フォローアップ
- 資金面での支援
 - プロジェクト全体に求められる金額のうち、一定の金額については採択企業自身によるコミットメントを求める
 - 金額は案件に応じて決定（上限は1,000万円（税抜））



応募対象① 個別協力事業との共創

応募対象

JICAとしての狙い

JICAが実施中・今後実施予定のODA案件における効果増幅
 JICAが将来的に個別協力事業を模索したい国×社会課題におけるアイデアの共創

支援内容

JICAのネットワークを活用した相手国政府部門等との連携支援

- JICAが実施中・今後実施予定のODA案件、あるいは将来的に個別協力事業を模索したい分野において、JICAがネットワークを有するステークホルダーとの継続的な協議 等

追加支援の実施に向けた条件

TSUBASAプログラム期間中での以下の達成

- 上記の狙いに資するアイデアをJICAと形成・合意できている
- 連携先の現地政府部門より、アイデアに対する前向きな意向を得られている

対象とする案件・分野

国	案件	期待するソリューション
パラグアイ	社会経済開発に向けた宇宙計画管理プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 衛星データ利活用プラットフォーム、アプリケーションシステムの導入・構築 農業、防災分野での活用を想定するが、横断的な提案も歓迎
エクアドル	カカオ産業・輸出政策アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> カカオの未活用/廃棄部位(カカオポッド)を活用したバイオプラスチック樹脂加工技術・設備の導入 カカオ由来バイオプラスチック容器の製造・外販

応募対象②相手国政府のニーズを起点とした革新的なアプローチの検証

応募対象

JICAとしての狙い 相手国政府部門のニーズに基づいて、革新的なアプローチを通じた連携・共創の模索

支援内容 JICAのネットワークを活用した相手国政府部門等との連携支援

- JICAがニーズをすでに確認をしている相手国政府部門との継続的な協議への支援 等

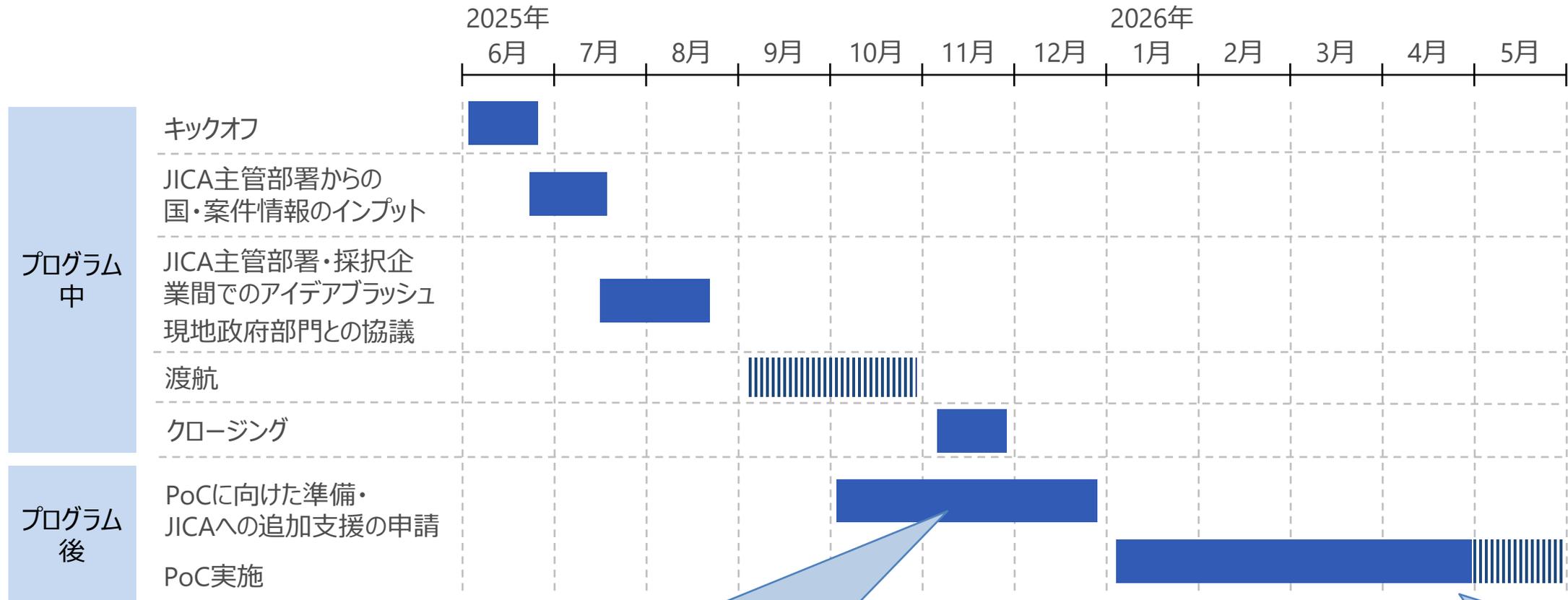
追加支援の実施に向けた条件 TSUBASAFプログラム期間中での以下の達成

- 上記の狙いに資するアイデアをJICAと形成・合意できている
- 連携先の現地政府部門より、アイデアに対する前向きな意向を得られている

対象とする案件・分野

国	分野	期待するソリューション
チリ	社会福祉 (障害者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・国立リハビリ病院、地方病院向け義肢装具の提供システム ・包括的リハビリテーションを目指した各種用具提供のための技術導入
ドミニカ共和国/ カリブ全域	サルガッサム (浮遊性のホンダワラ属の海藻)	<ul style="list-style-type: none"> ・サルガッサムの利活用 (バイオプラスチック、レンガ、肥料化等) ・サルガッサムの漂着の早期警報/回収
ペルー	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震技術による建築物の補強 ・耐震検査の測定・記録システムの導入 ・災害時の情報収集、情報発信能力の強化
メキシコ	自動車産業DX・GX	<ul style="list-style-type: none"> ・工場ライン労働者等へのVR研修 ・AI×ロジスティクス最適化ソリューションの提供 ・工場使用水の循環、再利用技術 ・工場内電力のグリーンエネルギー化
メキシコ	高齢化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設入居者の情報管理ツール ・在宅介護支援ツール ・高齢者見守りツール ・高齢者向け健康ツール

TSUBASAおよび追加支援のスケジュール（想定）



申請においては、以下の観点を整理し、JICAにて評価

- 開発課題とソリューションとの整合性
- 具体的なユースケースの特定
- 初期ビジネスコンセプトにおける座組とアクションプラン、およびそのコンセプト実現に向けたPoC等の実施計画・検証論点
- PoC後のスケールアップ仮説

PoC実施期間は最大1年ほどを想定

バイオーム

JICAの共創の視点

- ポリビアで実施中の河川汚染改善のプロジェクトにおいて、日本発のユニークなアイデアを活用することで、地域住民の環境意識向上の効果増幅が期待できる

開発インパクトの創出アプローチ

- 生物情報収集アプリを活用し、地域住民に汚染された水域と汚染されていない水域の生物の違いを示し、良好な水辺環境の豊かな生態系を体感してもらうことで、**地域社会の環境保全の意識変革促進に貢献**

TSUBASAでの支援 (JICA)

- ポリビア現地の課題に関するインプット
- 現地行政機関、大学、博物館、NGOなど水資源問題に関わる機関との交渉支援
- 実施中のJICAプロジェクトを踏まえたPoC設計アドバイス
- 将来的な中南米全域での展開を見据え、豊かな生物多様性を有する隣国ブラジルの関係機関の紹介

TSUBASAでの支援 (DI)

- ビジネスコンセプト・経済性にかかるメンタリング
- 提案資料のアドバイス
- オンライン面談・現地渡航時のパートナー候補との交渉支援
- スケールアップ仮説、PoC設計へのアドバイス 等

TOWING

- ブラジルで劣化牧草地の畑地転換にかかる資金協力を検討
- 日本発の革新的なソリューションの導入
- 土壌微生物培養技術により、高機能バイオ炭「宙炭」を生成し、劣化した土地の短期間での農地転換や、収穫量・品質の向上を可能にするとともに、バイオ炭の活用によるカーボンクレジットも創出することで、**気候変動への対応（緩和）と農家の営農支援に貢献**

- ブラジル現地の課題に関するインプット
- 現地研究機関との提携にかかる交渉支援
- ODAとのシナジーを踏まえたPoC設計アドバイス
- その他現地有望ステークホルダーのNW紹介
 - 日系企業、現地農業コンサル企業

ピリカ

- ペルーでの廃棄物処分に関するJICA協力を補完
- 日本発の革新的なソリューションの導入
- 路上散乱ごみのデータを収集できるサービスアプリ「タカノメ」によって、路上に蓄積したごみを車両に搭載したスマホを用いて撮影、AIによるごみの検知・解析を行い、ごみの分布状況をマップ上に表示することで、**ごみ収集ルート最適化等に貢献**

- ペルー現地の課題に関するインプット
- 顧客候補となる現地自治体へのアポ取り等にかかる支援
- PoC設計アドバイス
- 現地通訳の紹介
- その他、現地のビジネスや一般状況等に関する情報提供

